

## 平成30年度 幸小学校 授業改善推進プラン

### 1 幸小における目指す学力

本校では、学習指導要領に示された基礎・基本を重視し、以下の力の向上を目指す

- ・言語活動による表現力
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得
- ・思考力・判断力・表現力等の育成
- ・話し合い活動の充実

### 2 児童の現状

(30年度データ)

☆各教科の調査結果（正答率 %）

教科	A 教科の内容		B読み解く力に関する内容		AとBの合計	
	5学年	東京都	5学年	東京都	5学年	東京都
国語	<b>64.6%</b>	<b>65</b>	<b>74.5%</b>	<b>68.3</b>	<b>66.1%</b>	<b>65.5</b>
社会	<b>70.8%</b>	<b>73.5</b>	<b>55.9%</b>	<b>58.1</b>	<b>66.8%</b>	<b>69.3</b>
算数	<b>53.9%</b>	<b>57.5</b>	<b>25.2%</b>	<b>31.3</b>	<b>48.3%</b>	<b>52.4</b>
理科	<b>68.3%</b>	<b>70.8</b>	<b>65.4%</b>	<b>66.7</b>	<b>67.5%</b>	<b>69.6</b>

☆観点別の調査結果（正答率 %）

教科	A 教科の内容							
	関心・意欲・態度		思考・判断・表現		知識・理解		技能	
	5学年	東京都	5学年	東京都	5学年	東京都	5学年	東京都
国語	<b>92.2%</b>	<b>93.8</b>	<b>81.7%</b>	<b>80.9</b>	<b>52.1%</b>	<b>53.3</b>	<b>33.3%</b>	<b>39.6</b>
社会	<b>84.3%</b>	<b>87.4</b>	<b>70.9%</b>	<b>71.6</b>	<b>53.6%</b>	<b>60.9</b>	<b>75.7%</b>	<b>77.7</b>
算数	<b>76.5%</b>	<b>85</b>	<b>33.7%</b>	<b>38.1</b>	<b>47.1%</b>	<b>52.9</b>	<b>63.1%</b>	<b>64.5</b>
理科	<b>87.3%</b>	<b>91</b>	<b>60.8%</b>	<b>60.7</b>	<b>72.5%</b>	<b>78.4</b>	<b>62.7%</b>	<b>64</b>

教科	B 読み解く力に関する内容						A 教科の内容	
	取り出す力		読み取る力		解決する力		読む	
	5学年	東京都	5学年	東京都	5学年	東京都	5学年	東京都
国語	<b>80.4%</b>	<b>71.2</b>	<b>74.5%</b>	<b>68.4</b>	<b>68.6%</b>	<b>65.2</b>	<b>79.1%</b>	<b>74.1</b>
社会	<b>69.6%</b>	<b>70.6</b>	<b>46.1%</b>	<b>52.2</b>	<b>52.0%</b>	<b>51.6</b>		
算数	<b>44.1%</b>	<b>52.0</b>	<b>15.7%</b>	<b>21.4</b>	<b>15.7%</b>	<b>20.6</b>		
理科	<b>64.7%</b>	<b>71.2</b>	<b>70.6%</b>	<b>70.9</b>	<b>60.8%</b>	<b>58</b>		

○各教科の内容について

☆A 教科の内容について

○どの教科も、東京都の平均を下回っている。特に、算数の差が3.6ポイントと一番大きい。

- 国語では、「読む」が5ポイント、「思考・判断・表現」が0.8ポイント上回っている以外は、すべて下回っている。特に「技能」が3.3ポイントと大きく下回っている。
- 社会では、どの観点も下回っている。特に、「知識・理解」は、7.3ポイントと大きく下回っている。「思考・判断・表現」は、マイナス0.7ポイントと平均に近い。
- 算数は、どの観点も下回っている。特に「関心・意欲・態度」の観点では、9.5ポイントと大きく下回っている。「思考・判断・表現」では、4.4ポイント、「知識・理解」では、5.8ポイントと下回っている。
- 理科では、「思考・判断・表現」が0.1ポイント上回っている以外、どの観点も下回っている。特に「知識・理解」では、5.9ポイントと大きく下回っている。

☆B 読み解く力について

○国語は、6.2ポイントと大きく上回っているが、他教科はいずれも平均を下回っている。特に算数が6.1ポイントと大きく下回っている。

- 国語では、どの観点も上回っている。「取り出す力」で、9.2ポイント、「読み取る力」で6.1ポイントと大きく上回っている。「解決する力」では、3.4ポイント上回っている。
- 社会では、「解決する力」で、0.4ポイント上回っている以外は、いずれも下回っている。特に「読み取る力」が6.1ポイントと大きく下回っている。
- 算数では、いずれの観点でも下回っている。「取り出す力」で、7.9ポイント、「読み取る力」で、5.7ポイント、「解決する力」で、4.9ポイントといずれも大きく下回っている。
- 理科では、「解決する力」で、2.8ポイント上回っている。「読み取る力」は、0.3ポイント差であり、都平均と大差ない。「取り出す力」が、6.5ポイントと大きく下回っている。

☆教科の内容について

- どの教科においても、「知識・理解」の力に課題がある。繰り返し確認したり、各教科でも取り上げたりしながら、確実な定着を図る必要がある。

☆読み解く力について

- 教科間で多少の違いがあるが、「読み取る力」に課題があることが分かる。問題文をしっかりと読み取ることができず、表面的な数字や単語のみで答えてしまう傾向がある。また、すぐにあきらめてしまう様子も見られる。読書活動により、長文読みに慣れさせることも必要と考えられる。

### 3 児童の学力・学習状況の課題

教科	課題
国語	<p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音読をすると、拾い読みの児童がいる。</li> <li>書く力の個人差がある。</li> <li>話を正しく聞き取ったり、最後まで聞こうとしたりする力が十分でない。</li> <li>読書量、語彙力に大きな個人差がある。</li> </ul> <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>順序立てて説明したり、文章を書いたりする力にかなり個人差がある。</li> <li>大事なことや中心になることは何かを見付けられない児童が多い。考えて話を聞いたり、メモを取ったりする力に個人差がある。</li> <li>文字を丁寧に書く意識がまだ低い児童が多い。</li> <li>習った漢字を普段の文章に十分活用することができない児童が多い。</li> <li>漢字の習熟に課題がある。特に中学年になり、教科数が増えた中で漢字への意識が低くなっている。</li> </ul> <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞いていることを正しく聞き取ったり、要旨を捉えたりすることに苦手意識がある。</li> <li>伝えたいことを中心に考えて、文章構成をすることに課題がある。</li> <li>学習した漢字を覚え、使いこなせていない児童が多い。</li> <li>読み取った文章の意味を理解できていない児童が多い。</li> <li>読み手を意識し、正しい文章を書くことが苦手である。</li> <li>筆者の考えの中心を読み取ることができない児童が多く、それに対する自分の考えが構築できない。</li> <li>相手の意図をとらえて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりすることが苦手である。</li> </ul>
社会	<p>中学年 高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図や表など資料から情報を正確に読み取る学習では、複数の情報から適切な情報資料を選んで活用することが不十分である。</li> <li>課題を意識して、見学したり調べたりしたことを自分の言葉でまとめることが不十分である。必要な情報を写す作業になっている児童が多い。</li> <li>調べた知識を、実際の生活に活用しようとする意識が薄い。</li> <li>複数の資料から適切な資料を選んで活用することが不十分である。</li> </ul>
算数	<p>全学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的な計算力の差が大きい。</li> <li>時刻や時間や長さ（単位の換算）の単元でつまずく児童が多い。また、感覚的に長さを捉えることが苦手であり、まだ量感が育っていない。</li> <li>10の補数や数に対していろいろな見方・考え方ができず、おおよその答えを予想するのが苦手である。</li> <li>単位を正しく書くことが不十分ではある。</li> <li>数直線、テープ図など図を活用して問題を解く習慣がついていない児童が多い。</li> <li>問題解決的学習における練り上げ場面において、他者の意見を聞いて理解したり、説明したり</li> </ul>

	<p>することが苦手な児童が多い。また、考えを説明する児童も「他の児童に理解しやすいように」という視点をもって説明できる児童は少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章題を読み取る力が充分でなく、計算の意味を理解して演算決定している児童が少ない。</li> <li>既習事項の定着が不十分な児童が多い。</li> <li>ペア学習では、理解をしている児童が、理解していない児童に伝える一方的な話し合いが多い。学び合うのではなく、伝えているだけである。</li> </ul>
理科	<p>中学年 高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グラフや表などの資料から結果を読み取るのが苦手である。</li> <li>専門的な用語の知識が不十分である。</li> <li>目的意識をもって実験・観察することに課題がある。</li> <li>実験・観察で確認した事象を根拠として結論をまとめるのが苦手である。</li> <li>実験・観察で理解したことを活用するのが苦手である。</li> </ul>
体育	<p>低学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バランス感覚が弱い。</li> <li>周りの友達や物によくぶつかる児童が多い。</li> <li>運動感覚が備わっていない。</li> <li>苦手な運動に取り組もうとしない児童がいる。</li> <li>運動の技能のポイントを意識しないで、何となく活動している児童が多い。</li> <li>教え合いに慣れておらず、効果的に教え合うことができていない。</li> <li>勝ち負けにこだわりすぎる点があり、気持ちよく運動に取り組むことが苦手な児童が多い。</li> </ul> <p>中学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボールを使った運動が苦手（特に投げる運動）である。</li> <li>技能面、体力面で偏りが大きい。（学習したことを他の運動に生かせない。）</li> <li>運動が得意な児童が苦手な児童に配慮することなく運動に取り組んでしまうことがある。</li> <li>勝ち負けにこだわりすぎる点があり、気持ちよく運動に取り組むことが苦手な児童が多い。話し合いもできない。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理や裁縫の実習に興味をもって取り組んでいるが、技能面での差や興味、関心の持続に差がある。</li> <li>生活に関する基本的な知識、経験の差が大きく、自らの生活に十分に生かせない。</li> <li>家庭での活動が宿題で出た際に、取り組むことができない児童も若干名いる。</li> <li>落ち着いて座って学習に取り組むことが苦手である。</li> </ul>
外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に行っているが、リピートやアンサーの場面では、大きな声が出ない、恥ずかしく目を合わせられない児童もいる。</li> <li>学習に対する興味・関心に差がある。</li> </ul>

4 授業改善策

教科	課題解決のための手だて・方法
<p>国語</p>	<p>1年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の音読の家庭学習にしっかり取り組ませ、文章をすらすら読めるようにするため、課題を考えて与える。</li> <li>○経験したことを文章に書く活動を多く取り入れ、文を書くことに慣れさせる。</li> <li>○話の聞き方のポイントを示し、常に意識させ、自己評価させる。</li> <li>○読み聞かせや読書等、本に親しむ機会を多くし、語彙を広げる。</li> </ul> <p>2年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○二人組の対話など、話す・聞く活動を多く取り入れる。話をしたり、聞いたりするときのポイントを掲示し、常に意識させる。話型を示し、課題をもつ子供への支援をする。</li> <li>○書く活動を多くし、書き方（型や表現の仕方）を丁寧に教える。また、苦手な児童には、書きたいことを口頭で言わせてから書くようにさせていく。</li> <li>○読書カードを活用したり、図書館の時間に色々なジャンルの本を紹介してもらったりして、読書の幅を広げる。読書月間の本の紹介カードも活用し、本を手にする機会を増やす。</li> </ul> <p>3、4年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字のへん、つくりなど部首の仲間分けをしたり、書き順を言葉で表す教材等を活用したりする等、漢字への苦手意識を緩和しながら意欲付けをし、練習させるようにする。また、新出漢字を学習する際に、折れやはね、線の長さ等に対する意識を高める声かけをする。</li> <li>○書く活動を多くし、書き方（型や表現の仕方）を丁寧に繰り返し教える。また、苦手な児童には、書きたいことを口頭で言わせてから書くように指導していく。</li> <li>○文章を書くことに課題のある児童に対しては、教師が型をつくり、取りかかりやすいように支援する。</li> <li>○初発の感想だけでなく、話のあらすじ、登場人物、場面の様子を踏まえて新たに感想がもてるようにする。</li> </ul> <p>5、6年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の学習の際には、へんやつくりの意味と結び付けて指導する。</li> <li>○接続語に注意させ、段落相互の関係を図に表すようにする。</li> <li>○家庭学習の中で意図的に国語辞典を使い、語彙を増やす。</li> <li>○文章構成メモを書いてから作文に取り組ませる。</li> <li>○言語活動、話し合い、討論を多く取り入れ、主体的に活動できる場を増やす。</li> </ul> <p>【読み解く力を育む指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題に関わる部分だけを読むのではなく、全体を読んで問題に関わる部分を見付けさせる。</li> <li>○筆者がどのようなことを伝えるために具体例を出しているのか、同じ内容をどのように言い表しているのかを考えさせる。</li> <li>○具体例を通して筆者の込められた思いを考えさせる。</li> <li>○本文に書かれている言葉の意味を正確に捉えたり、前後の文脈から情景描写で作者が伝えたいことを正確に読み取ったりして、物語文の世界を味わわせる。並行読書も行う。</li> </ul>
<p>社会</p>	<p>3、4年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な生活、地域に結び付け、自分自身の生活や地域を知る活動になるよう指導する。</li> </ul>

	<p>○見学や体験したことについてまとめたり振り返ったりする時間を確保し、理解の深化や定着をはかる。</p> <p>5年</p> <p>○社会科クイズを行い、関心、意欲の向上を図る。</p> <p>○学習問題を明示し、その答えとしてのまとめをきちんと書かせる。</p> <p>○ICTを使った授業を行い、新聞、インターネットから情報収集と活用を行う。</p> <p>○読み取った情報を記号や表を使って関係性を考えながらまとめさせる。</p> <p>6年</p> <p>○学習課題について自分なりに見通しをもつこと、推論をすること、資料を調べることという問題解決の過程を意識して指導する。</p> <p>○ICTを使った授業を行い、新聞、インターネットから情報収集と活用を行う。</p> <p>○オリンピック、パラリンピックに興味をもてるよう、授業計画を基に学習をする。</p> <p>○知識理解を深めるために、ノート作りを行う。</p> <p>【読み解く力を育む指導】</p> <p>○5W1Hの視点から必要な情報を取り出させる。</p> <p>○問題の共通点、相違点、つながりを考えさせる。</p> <p>○「目的と手段」や「原因と結果」の関係から捉えさせ、「つまり～」を使って説明させる。</p>
算数	<p>全学年</p> <p>○既習事項を根拠に説明することを継続して指導する。</p> <p>○友達の発表に対して自分の意見を付け足すよう促す。</p> <p>低学年</p> <p>○既習事項の復習を繰り返し行い、計算力の積み重ねを行う。</p> <p>○具体物を使って、量感を育てる学習を意識して取り組む。</p> <p>○1つの数を他の数と関係付けてみるなどして、数の感覚を豊かにする指導をする。</p> <p>【読み解く力を育む指導】</p> <p>○問題文を把握する力を付ける。課題は何かを明らかにする。</p> <p>○実際に操作して問題の条件を捉えさせる。</p> <p>○具体物を用いて数値が何を表しているか確認させる。</p> <p>○それぞれの考え方の共通点、相違点を話し合い、より良い考えを判断し活用する。</p> <p>○文章問題に書かれている場面を簡単な図を描くなどしてイメージし、文章で問われている内容を確実に捉えられるようにする。</p> <p>○文章問題に書かれている場面をイメージして文章で問われている内容を確実に捉えられるように条件不足の問題や、問題文に口を入れるなどの工夫をする。</p> <p>○10の補数など、児童が楽しみながら考えられるような活動を取り入れる。</p> <p>中学年</p> <p>○板書に合わせたノートの取り方を指導する。</p> <p>○九九の習熟の徹底をする。筆算の仕方の習熟を徹底する。</p> <p>○課題を解決するための学習パターンを身に付けさせていく。</p> <p>○全体の中で個に対する指導を大切にする。</p>

	<p>○日常的な大きさや量にたとえる場面を授業で取り上げるようにしていく</p> <p>高学年</p> <p>○ノートをお互いに見合ったり、評価し合ったりする活動を取り入れ、思考の過程が残るようなノート作りを意識させる。</p> <p>○習熟度別指導で、個別の課題に応じた指導を工夫する。</p> <p>○文章問題の文章に書かれていることを理解する時間をとったり、式の意味を理解する時間をとったり、簡単な数字に置き換えたり、図や表をかかせたりするなどの指導を通して、演算決定ができるようにする。</p> <p>○中学校の連携を意識し、四則演算の徹底をする。</p> <p>○校内研究の柱である「問いと共有」を意識した授業を展開し、児童の学習に対する意欲を高めるとともに、話し合いの場の設定を行い、主体的・対話的な授業展開を意識する。</p> <p>【読み解く力を育む指導】</p> <p>○問題文を把握する力を付ける。課題は何かを明らかにする。</p> <p>○実際に操作して問題の条件を捉えさせる。</p> <p>○具体物を用いて数値が何を表しているか確認させる。</p> <p>○それぞれの考え方の共通点、相違点を話し合い、より良い考えを判断し活用する。</p> <p>○文章問題に書かれている場面をイメージして文章で問われている内容を確実に捉えられるようにする。</p>
理科	<p>全学年</p> <p>○ポイントや条件が分かるよう提示する等、活動前の準備を大切にする。</p> <p>3年</p> <p>○学習に出てきた用語を使って、実験の振り返りやまとめをし、基本事項を押さえる。</p> <p>○実験方法や予想、結果、分かったことをノートに取る活動を入れる。</p> <p>4年</p> <p>○実験方法や予想、結果、分かったことをノートにまとめる活動を入れる。</p> <p>【読み解く力を育む指導】</p> <p>○資料を多く活用し、変化や違いを正確に読み取らせる。</p> <p>○資料から読み取ったことを関連付けて、推論させる。</p> <p>5年</p> <p>○新しい実験の際に、既習の実験方法や器具の使い方を再確認する。</p> <p>○問題把握→予想→実験方法の検討→実験→結果考察→結論の学習過程で授業を行う。</p> <p>○体験活動を取り入れ、自ら考え、仮説を立てる授業を多く行い、</p> <p>○実験等を行い、分かったことなど、その知識を定着させる時間を設定する。</p> <p>6年</p> <p>○観察や実験の予想、実験方法を考え、観察や実験の結果をもとに考察をさせ、ノートにまとめる指導を継続する。</p> <p>○実験の目的を明確にし、科学的な思考が育つ話し合い活動、体験活動を積極的に取り入れる。</p>

	<p>【読み解く力を育む指導】</p> <p>○資料を多く活用し、変化や違いを正確に読み取らせる。</p> <p>○資料から読み取ったことを関連付けて、推論させる。</p>
音楽	<p>低学年</p> <p>○男女関係なく交流できる表現活動を多く積み重ねる。</p> <p>中学年・高学年</p> <p>○練習した成果を出せるように、発表する機会を設ける。</p> <p>○譜読みの苦手な児童には、階名を書いた楽譜を用い、技能の習得に集中させる。</p> <p>○授業中に習得できなかった部分の大きい児童に対しては、休み時間、放課後等を活用して個別指導をする。</p> <p>全学年</p> <p>○個人や少人数で演奏する機会を常時活動として取り入れ、人前での表現に慣れさせていく。</p> <p>○友達の表現に対して、肯定的に反応するような環境づくりを心がける。</p> <p>○児童の実態について学級担任と連携を取り合い、集中して学習に臨めるように生活指導面からも対処していく。</p>
図工	<p>全学年</p> <p>○授業規律の徹底、あいさつ、返事をする習慣付けをする。</p> <p>○安全に作業できる学習環境を作る。</p> <p>低学年</p> <p>○学習内容の説明の際には、全員が聞いて分かるようにグループに分ける等の工夫をする。</p> <p>○模範や、タブレット等を使って、具体的にやり方が分かるようにし、見通しをもたせてから活動させる。</p> <p>中学年</p> <p>○作品のイメージをつかみやすくするために、具体的な作品や資料の提示を増やす。</p> <p>高学年</p> <p>○毎時の授業のめあてを明確にし、提示し意識させる。</p>
家庭	<p>○生活経験の異なる児童同士で教え合ったり、学び合ったりできるように、席順やグループ編成を工夫する。</p> <p>○日常生活に役立つような実習を多くし、具体的に考え、楽しく実践できるようにしていく。</p> <p>○事前学習や事後学習をしっかりと行い、学習の過程を記録させる。</p> <p>○担任が指導・支援に入り、手厚い授業を展開する。</p>
体育	<p>全学年</p> <p>○集団行動の基本を身に付けさせる。</p> <p>低学年</p> <p>○体づくり運動など、多様な動きを取り入れた運動をさせ、バランス感覚を育てる。</p> <p>○様々なあそびを経験させ、体の使い方を養う。</p> <p>○鬼遊びや、固定施設を使った運動を多く取り入れ、運動感覚を育てる。</p> <p>○めあてをもたせ、できる運動からスモールステップで指導し、めあてを達成できるよう工夫をする。</p> <p>中学年</p> <p>○約束やルールの提示や確認をして、分かりやすく徹底できるようにする。よりよい約束やルールの</p>



	<p>工夫について話し合いを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達のよさを認める時間を設定する。</li> <li>○高学年の動きのもとになるよう、ポイントを意識して指導していく。</li> <li>○日常的な活動の一環として年間を通して外遊びをすすめ、体力をつける。</li> <li>○勝ち負けにこだわりすぎることなく、楽しく、協力して活動に取り組めるよう指導する。</li> </ul> <p>高学年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○動きのポイントを教師側が明示する。</li> <li>○ペア学習やグループ学習の際には、どのポイントを意識して練習するのかめあてをしっかりとさせ、見る視点を共有させる。</li> <li>○学習カードを用いて、めあてを立てさせるとともに、振り返りと自己評価を行う。</li> <li>○勝ち負けにこだわりすぎることなく、協力して、楽しく、全力で活動に取り組むことが貴いという指導を繰り返し行う。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「観察時のポイント」を常に掲示するなどの工夫をする。</li> <li>○他の児童が発見したことや感じたことを聞いたり、良さを見付けたりする活動を多く取り入れる。</li> <li>○手先を使った作業をできるだけ多く取り入れ、できることを増やしていく。</li> <li>○活動の楽しさを十分に味わわせ、表現活動の幅を広げる。具体的には紙芝居、絵本、絵日記、ペープサート、劇化などで表現し、考える経験を積み重ねていく。</li> <li>○児童の作品やつぶやき、自己評価を取り入れたカード、相互に教え合う活動や表現活動等から、児童が気付いたことを教師が見取り、価値付けて全体に返すようにする。また、保護者のボランティアも活用し、児童の活動を安全にかつ把握できるようにする。</li> <li>○地域のお店や施設に出向き、実際に地域の方と交流する活動を計画的に設定する。</li> </ul>
外国語 活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲームなどの活動を取り入れながら、児童が楽しめ、一人一人が活躍できる場を設定する。</li> <li>○ALTと担任が連携し、大きな声で話しても恥ずかしくないと感じさせる雰囲気を作る。</li> <li>○中学校の教員との連携をし、指導に生かす。</li> </ul>